



桜一第15号  
令和5年7月3日

桜岡小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sakuraoka>

## 子どもの気付きを大切に

副校長 原田 美智子

梅雨の合間の晴れた日には、夏の日差しが降り注ぐようになりました。

6月16日には、雨で延期していた2年生の久良岐公園校外学習を無事実施することができました。今回は、公園の中でグループごとにウォークラリーをしました。自分たちで地図を見たり、班の友達と声をかけ合ったりしながら、担任の先生がいるポイントを探して歩く姿に成長を感じました。

さて、1年生の生活科の学習では、学校たんけんを行っています。「どんな教室があるのかな?」「どんな先生がいるのかな?」という疑問を解決する中で、最初は自分の教室と担任の先生だけだった世界が、どんどん広がっていきます。「保健室にいる先生」が「具合が悪いときや怪我をしたときに助けてくれる山下先生」に、「いつも職員室にいる先生」が「鍵を貸してくれる副校長先生」になり、学校の中には勉強を教えてくれる先生だけでなく、用務員さんや、調理員さん、事務の先生など、自分たちのために働いているたくさんの方がいることに気付くのです。毎年、5・6月になると、教職員は何十回も名前を聞かれますが、1年生が、学校に愛着をもち、先生たちと安心して話せるようになる為の大切なプロセスなのだろうと感じます。

また、学校たんけんの中で、子どもたちは、いろいろな不思議を見つけってきます。今年の1年生は、「チャイムは、誰が鳴らしているのか?」という疑問をもったそうです。もちろん、担任の先生は、すぐに答えは教えません。今までの自分の生活経験や、学校たんけんで見つけたものを根拠に、予想を立てていきます。



そして、柱時計や鐘が鳴っているか確かめに行ったり、用務員さんに聞いたりして、最後は職員室の機械で鳴らしていることを突き止めたのです。

これらは、不思議だなと思ったことから課題をもち、予想を立てて、自分たちで調べて解決するという、1年生なりの問題解決学習です。このような学習が、生活の中から課題を見つける力や、自分の力で問題を解決しようとする主体性を育てていきます。これからも、何年生になっても、子どもたちの気付きや素直な感性を大切に、一緒に学習を作っていくよう努めたいと思います。



チャイムを鳴らす機械